

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
久米南町	南庄東地区 (瓜生集落、松尾集落、久保田1集落、久保田2集落、三日市集落)	令和4年3月8日	年 月 日

### 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	47.0 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	36.2 ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	9.0 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	5.2 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.0 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	1.0 ha
(備考)	

### 2 対象地区の課題

本地区の最大課題は後継者問題である。また、地区の約5割が平坦地であるものの、急傾斜地も約5割を占めることから、生産効率も悪い。更に農業用施設も更新期を迎えてくる施設も多くなっている状況である。近年ますます増大している鳥獣害被害も課題の一つである。

### 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

この地区の農地利用は中心経営体が担うが、現在は都会等で生活している家族・親族も多くいる。退職者や、近年の働き方改革によるリモートワークへの移行者のUターン、新規就農の受入れを促進し対応していく。

この地区には、農業生産法人「岡山県農商」があることから、作目や農業作業が一致すれば、農業と福祉が連携し、農業分野での活躍を通じ、障害者等の就労・社会参画の機会の確保について考える。

### 4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

農業者の高齢化と担い手不足により、現在いる農業者のみでは将来、管理が困難となる農地が増加すると懸念される。定年帰農者や新規就農者の候補者に相談等しながら農地の現状維持を図る。希望者には生産技術等の面で集落ぐるみでのフォローアップを行い、将来的に地域の担い手や後継者として育成する。また、可能な作業であれば障害者の参画も考慮する。

農業機械を共同化することにより、農機具の過剰投資を防止して生産性の向上を図る。また、無人ヘリコプター(ドローン)による共同防除を行い作業の効率化と水稲品質の向上も図る。この地区には有能な農業指導者が在住していて、作付作目の変換や農業経営へのアドバイスも期待されていて、この地域の特産物発掘に向けて取り組む会議も行う予定である。

農業用施設の更新や鳥獣被害防止には、各種補助事業(中山間地域等直接支払や多面的機能支払交付金など)に積極的に参加して、農家負担の軽減を図る。また、きめ細かな点検実施により、補修や修繕を早期に行うことでも負担軽減を図る。

離農を希望する農業者が現れた際には、隣接地の農業者が相談を受けるが、条件等の内容によっては、農地中間管理機構を通じた貸付も検討する。